



育友会だより



No. 2

白山市立北陽小学校育友会 2019年9月

今年度の地区懇談会についてのまとめをお知らせします

6月下旬から7月頭にかけて、北陽小学校校下の6町ごとに地区懇談会が開催されました。先生方をはじめ、育友会役員も数名ずつ参加してきましたので、主な内容をお知らせします。

もちろん各地区により、内容や考え方も共通する部分もあれば、それぞれ独自の部分もありました。それ故に他の地区の意見に触れることも、今後の子供達の学校生活を支える上で大切な事と考えます。もちろん「子供のために」との思いは共通です。

☆地区懇談会で出た意見(主なもの)

* 朝の通学時の安全確保

- ①町内のスクールサポートの方だけでは、危険個所がカバーしきれない
- ②町内にサポート隊自体が存在しない
- ③子供の通学マナーが悪い(グリーンベルトからはみ出る、交差点でふざける、通学路を守らない、等)
- ④登校時間が極端に早い子がいる
- ⑤災害時の対応は？

* その他、安全面に関して

- ⑥交通安全要望書を出しても、なかなか実現しない
- ⑦自転車乗車時のヘルメット着用率が低い、車道でブレボー等に乗る子がいる
- ⑧大人の交通マナーはどうか？小学校付近での車の運転等
- ⑨近隣の小学校にて、「ながら見守り」をしている。北陽小学校も実施すべきではないか？

☆今後の改善点(対策)

- ①②育友会からも働きかけて必要な人員が出せるように、子供会、町内会で話し合ってもらう
- ③⑦最終的には保護者が自分の子供に言い聞かせるしかないです。我が子の安全を守るために、しつこく指導して下さい
- ④登校時間を短くすることで防犯につなげるとの考えから、二学期より登校(開門)時間を変更
- ⑤地区委員より「あんぜんマップ」を配布。通学時は基本、家か学校の近い方に行く
- ⑥非常に多くの案件が市に寄せられる為、なかなか実現しないのが現状ではあるが、毎年諦めずに提出する事で訴える力となると考え、継続して提出する
- ⑧特に登下校時は、児童が飛び出す危険性もあることから、通行の際は徐行して下さい
- ⑨二学期より本校でも、ながら見守りとして「北陽小みまもりの輪」を実施

～育友会からのお知らせ～

今年度まで各町別に行ってきました地区懇談会ですが、形骸化してきている地域もあり、もっと活性化させられないかとの思いから、来年度からは、北陽小学校校舎内にて六町合同の懇談会に変更したいと考えています。メリットとしては、他の地区の方々とも意見交換が可能になる。皆様お忙しい中での開催準備や時間の効率化が図れる等々あります。反面、遠方の地域の方々からは、移動等の不満もあろうかと思いますが、近隣の小学校もメリットの方が大きいとの事で、このようなスタイルの所が増えていきます。

何卒ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。